



だんかづら あーちゃん、8歳。おやつが大好きなちょびり太めの男の子。気が優しく、撫でてもらうことが大好きなご近所さんのアイドルです。 坂ノ下 坂田さん方

始めまじよつ

《春のオンライン・アート・マスター・クラスwith アート・サチコ・カワムラ》 新年度から50日間、自分を勢いづけ、一生懸命ピアノのスキルアップを求めるアマチュアからプロの方！

4月21日〜6月10日。限定10名様。詳細はメールで問合せ P:twilight@sachiko-diano.com



お知らせ

●春の公開中止 旧華頂宮邸、扇湖山荘は新型コロナウイルス感染拡大のため、建物公開を中止。鎌倉市都市景観課 ☎61・3477

●鎌倉中央公園の上空を泳ぐ鯉のぼり 4月24日〜5月5日修景池上空。 ☎45・2750

●緑のレンジャー募集 5月〜翌年2月、土曜10〜12時、全10回。鎌倉市内在住・在学・在勤の18歳以上対象。公園や緑地の維持・管理を体験し、樹林地の現状を学ぶ。 ☎61・3486

みる

▼企画展「まじないの世界―鬼をもつて鬼を制す―」 4月17日まで鎌倉歴史文化交流館。鎌倉市内から出土された呪符や形代などの出土品や鬼の姿を描いた絵画資料からまじないの世界を展覧する。 300円。 ☎73・8501

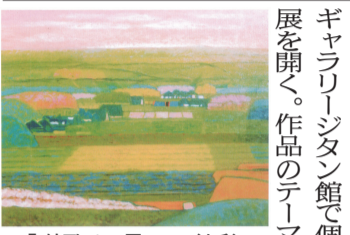
▼特別展「鎌倉の至宝」 5月9日まで鎌倉国宝館。国宝「当麻曼荼羅縁起絵巻」や新たに鎌倉市指定文化財になった「報国寺境内絵図」など文化財を一堂に。400円。 ☎22・0753

▼光明寺寺宝展 5月9日まで光明寺本坊広間。毎年この時期に鎌倉国宝館に寄託しているものなどを紹介する。当麻曼荼羅縁起絵巻写本の上下二巻の全物語の特別公開(原本の一部は国宝館で公開中)ほか、浄土八祖図八幅、阿弥陀如来立像など。500円。山門楼上も公開中。500円。 ☎22・0603

▼特別展「武蔵国鶴見寺尾郷絵図の世界」 5月23日まで県立金沢文庫。鶴見地域を描いた武蔵国鶴見寺尾郷絵図(重要文化財)、大般若経関連の諸本、仏画、古文書など約100点。500円。 ☎045・701・

上野憲一展

「自然賛歌」は「自然賛歌。絵に込めた眼差しは、自然への畏敬と、大地がもたらしてくる豊かな恵みの中で生きとし生けるものの命への賛歌という。現場の光と空気を大切に自然の持つ生命感を生き生きと表現した油彩画約35点を展示。 問い合わせ 同館 ☎0467・32・9658



「賛歌」 F 30 油彩

9069

▼企画展「藤田道子 ほどく前提でむすぶ展」 4月3日〜6月6日 茅ヶ崎市美術館。県在住のアーティスト藤田道子の公立美術館初の個展。リボンが素材の大型インスタレーションやシルクスクリーン、立体作品など。700円。 ☎88・1177

▼澤柳秀治 日本画・水墨画展 4月1〜7日北鎌倉のギャラリー・珈琲鎌倉結。82歳の澤柳さんが日本各地の盆踊りや夏祭りを描いた作品50点。澤柳方 ☎046・865・0164



美人今昔シリーズ

▼工藤泰代とKUM村松久美子二人展―天然素材のハンドメイド服と絹紐と天然石のアクセサリたち 4月14〜18日鎌倉のギャラリー一翠堂。天然素材を中心に着心地の良さこだわった日常着と絹

糸に天然石やパール等を組み込んで色合いや素材感を大切に制作したネックレスやピアスなど。 ☎22・3769

美術館・文学館めぐり

Table listing various museums and libraries with their names, addresses, phone numbers, exhibition titles, dates, and prices.

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急きょ中止・延期になる場合があります。開館状況については、各施設にお問い合わせください。

風景画など約300点

第1回鎌倉水彩画塾展

水彩画家・矢野元晴さんが、4月13〜19日鎌倉生涯学習センターで「鎌倉水彩画塾展」新たな挑戦を開く。矢野さんは、4年ほど前に同塾を開講し、独自に編み出した「水彩印象画法」で小学生から90代まで約300人を指導している。



全塾生の作品を集めた展覧会は初めて。「水彩画の魅力は、そのときの気持ちさがめいというちに短時間にはっと描き上げられること」と話す。矢野方 ☎080・6578・9290

鎌倉朝日歌壇

木村 雅子 選

還暦を過ぎて嵌まってしまったとサーファー一人波を分け行く。 「嵌まってしまった」で心情がよく伝わって、力強い歌。 手の平に乗せれば軽しガラス戸へ当たりに果てし目白の骸。 目白の骸の軽さの実感から、哀愴が沁みて伝わる歌。 登校を見送る母に四年の子「深呼吸してこらん清々しいでしょ」。 ちょうど大人ぶる年頃。だが優しい。笑顔の見える歌。 寒中の氷雨にぬめぬめふつくと臨月のとき辛夷の香。 公園に遊ぶ子供の遠き声一つになって囁いている。 富士を背に白き小舟の釣り人は碧き水面に釘づけになる。 葉山町 近藤美知子 失敗を糧にし前へ進めたり古稀を越えても人生続く。 城廻 塩田 文子 見渡せば海はくまなく輝きて光の春は確かにきている。 大船 小笹美子 配達の人が帰ればドアノブの消毒をするコロナの日常。 返子市 湊 美根子 合格の二文字に泣きける初孫の瞳の奥に青春を見た。 葉山町 近藤 純 放課後のグラウンド狭し若人ら走る跳ぶ投げる砂煙たつ。 藤沢市 三浦 和子

鎌倉朝日俳壇

星野 高士 選

△△ 天上は大風なりや涅槃の日 山ノ内 高橋 仁 各寺院で涅槃図を掲げ法要する涅槃の日、天上は地上に遠い大風と詠った一句。思いの深いものになった。 △△ 部屋すみへ転寝用の春炬燵 藤沢市 一色千穂子 身近なところでも俳句はできる。春炬燵が利いている。 △△ 春疾風庭の砂塵を巻き上げて 今泉 小川刀羊子 春荒れの庭の砂塵という生活と共にあるものに着目したのが面白かった。 日浴びて零れるほどの椿かな 腰越 大川 昭子 椿が「零れる」も新しい発見。上五がよく作用している。 訝返る来賓席のパイプ椅子 岡本 鳴海 紀政 春になってまた寒さが来るのがこの句の季節。来賓席にパイプ椅子とは簡素な集い。道具仕立てが良い。 風吹きて音の出そなう土佐水木 笛田 上田 満喜 いくら風が吹いても音は出そうにないが、土佐水木の咲き振りがよく伝わってきた。作者に聞かされたのか。 春めくやべつこう船に固き音 腰越 松原 薫 雛祭り再会待ちて指を折る 吉田 昭子 招きたや心の静に花夜 本郷沼 森田 順子 人と人はふれ合ふてこそ雛の日 藤沢市 三浦 和子 梅が香の籠る林を抜かせず 片瀬 中村 和子 江ノ電の線路くろくろく春の草 辻堂 柳 喬子 あと一歩あと三歩かな春近し 返子市 塩谷あい子 春月を浮ぶおもかげ龍太の忌 野水仙水水平線に円みあり 植木 風見 玲子 半島の白波小波春の海 岡本 森田 孝 休耕の村に人なき春霞 大船 添田 哲美 植え替えの手にやわらかき春の土 材木座 羽賀 一男 鶯の声にも慣れぬ谷戸歩き

購入新図書のリスト抄

鎌倉市中央図書館 (2月分)

鎌倉市中央図書館(☎25・2611)は2月に一般148冊、児童書47冊を収蔵した。一般的なもの下記通り。 ▼「科学絵本の世界100―学びをもっと楽しくする」平凡社(別冊太陽) ▼「いつも機嫌がいい人の小さな習慣―仕事も人間関係もうまくいく88のヒント」有川真由美著 毎日新聞出版 ▼「忍性の真実―極楽寺良観と戒律」理崎啓著 哲山堂 ▼「Weの市民革命」佐久間裕美子著 朝日出版社 ▼「図解SDGs入門」村上芽著 日経BP日本経済新聞出版本部 ▼「Google式10Xリモート仕事術―あなたはまだホントのGoogleを知らない」平塚知真子著 ダイアモンド社 ▼「Microsoft Teams実用ワザ大全―テレワークの達人になる!徹底活用!」日経PC21編 日経BP ▼「マンション防災の新常識―逃げずに留まる「在宅避難」完全ガイド」釜石徹著 合同フォレスト ▼「新型コロナウイルス「正しく恐れる」」西村秀一著 井上亮編 藤原書店 ▼「日本の医療の不都合な真実―コロナ禍で見た「世界最高レベルの医療」の裏側」森田洋之著(幻冬舎新書) ▼「文房具語辞典―文房具にまつわる言葉をイラストと豆知識でカリカリと読み解く」高畑正幸著 誠文堂新光社 ▼「書聖王羲之―その謎を解く」魚住和晃著(岩波現代文庫) ▼「日本の美しい言葉辞典」梅内美華子監修 ナツメ社 ▼「忙しくても毎日が整うシンプルライフ入門」(日経BPムック) ▼「誰も教えなくなった、料理きほんのき」鈴木登紀子著 小学館